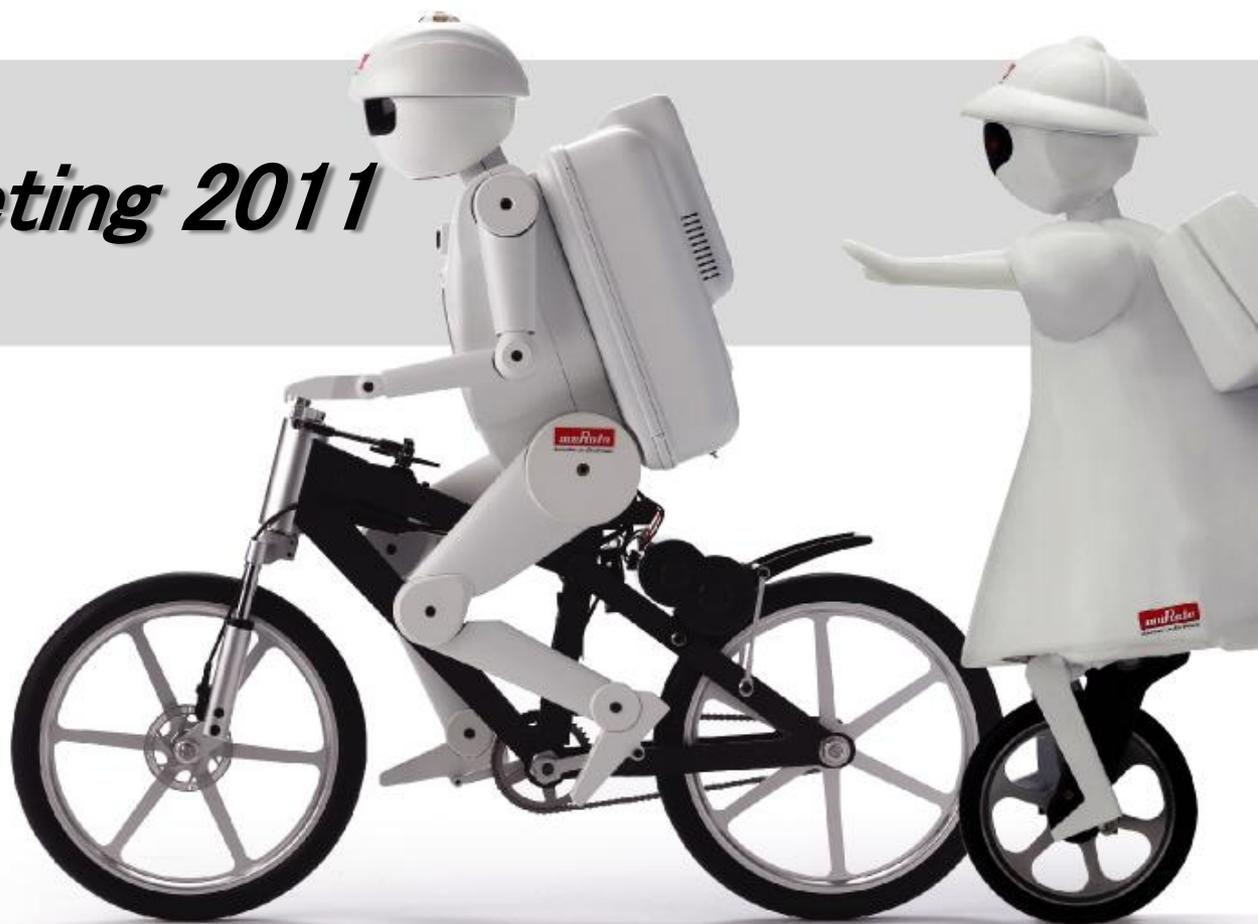


Information Meeting 2011

2011年12月9日
株式会社村田製作所



中期経営計画

新興国市場

中核市場

新規市場



生産/販売体制
拡充



Wireless Solution



MLCC Business



自動車



環境・エネルギー

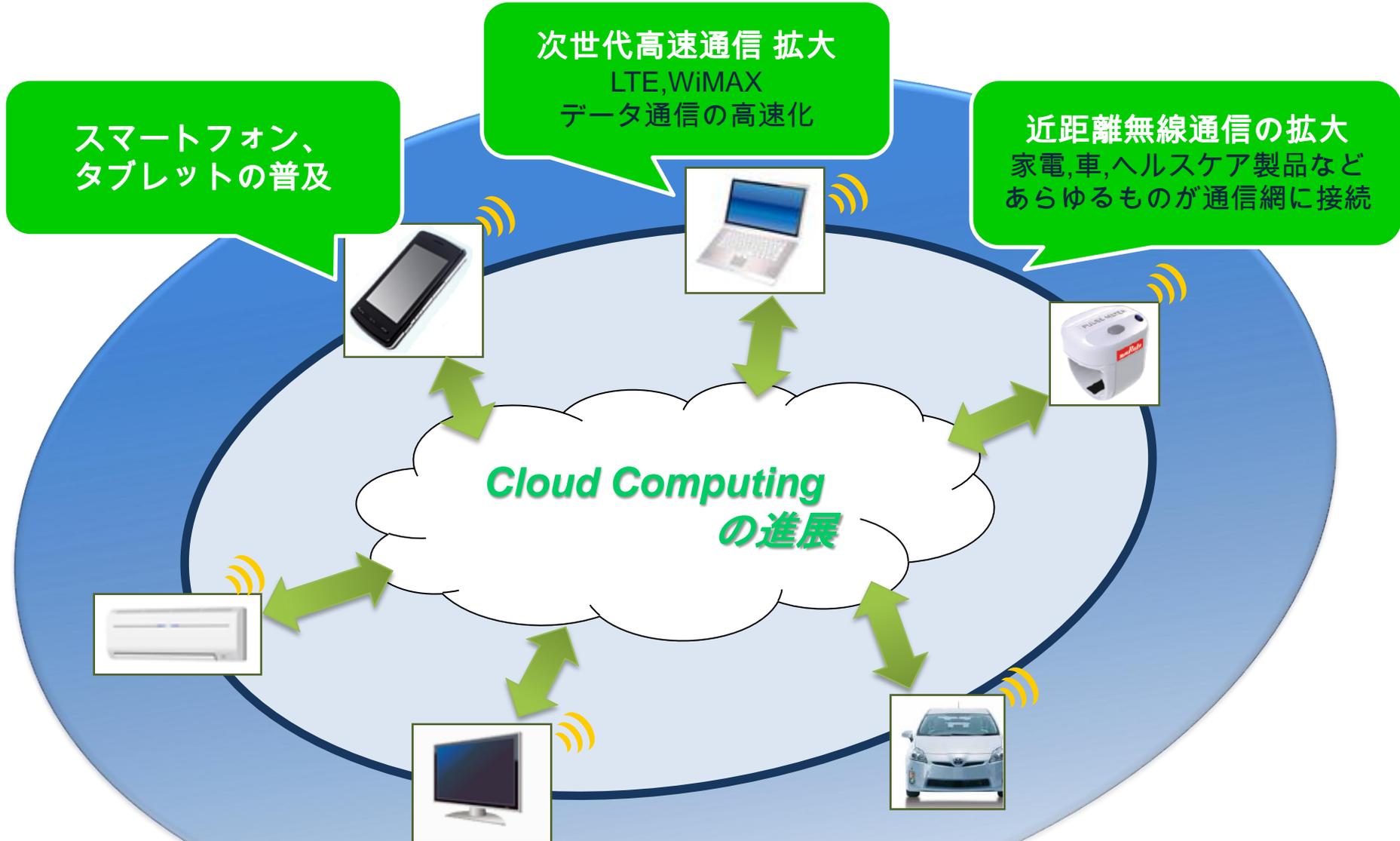


ヘルスケア

中核市場

- ✓ *Wireless Solution*
- ✓ *MLCC Business*

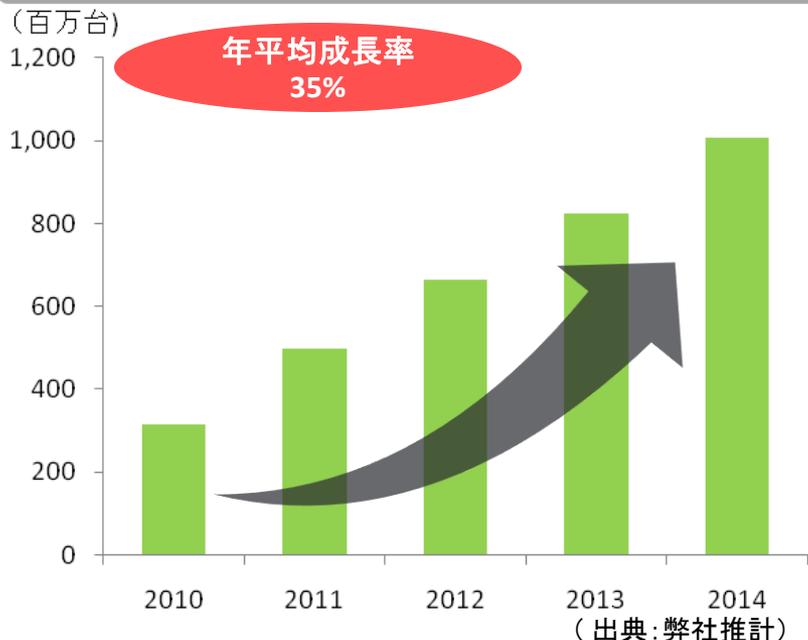
無線通信市場の現状と展望



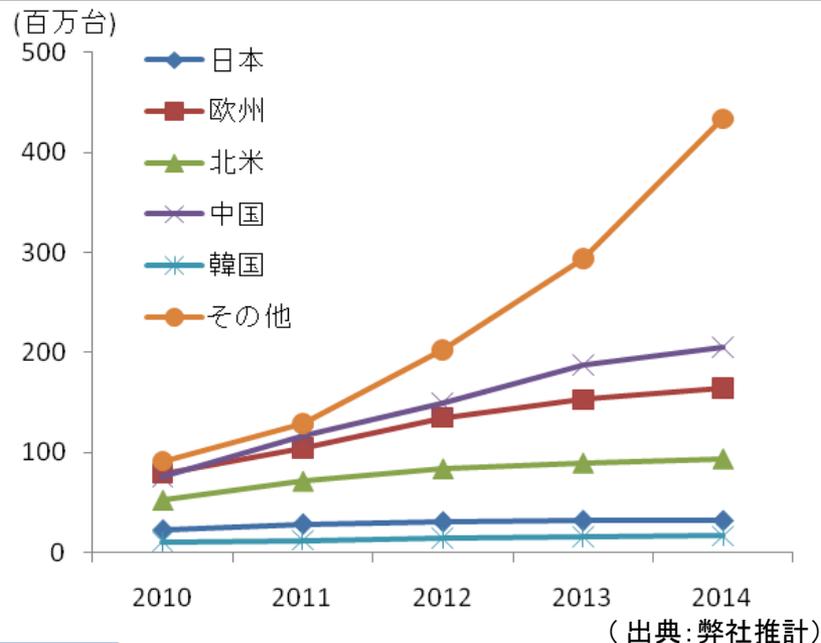
ムラタのTotal Wireless Solution の需要拡大！！

スマートフォンの普及

スマートフォン台数予測



地域別スマートフォン台数予測



スマートフォン市場の成長は続く

- ✓ スマートフォン構成比率は2014年には50%まで上昇
- ✓ 機器の多機能化/バッテリースペースの確保に伴い、回路部分の省スペース化がテーマに
⇒ 超小型コンデンサなど小型高付加価値品ニーズが拡大
- ✓ 新興国におけるFeature Phoneからスマートフォンへのシフト
⇒ 超小型コンデンサ、SAWデバイス含む高周波部品・WiFiモジュールの需要増大
- ✓ モバイル決済の普及に伴うNFC関連部品の需要拡大
- ✓ 通信トラフィックの爆発的増加が次世代高速通信の普及促進



LTE市場の拡大

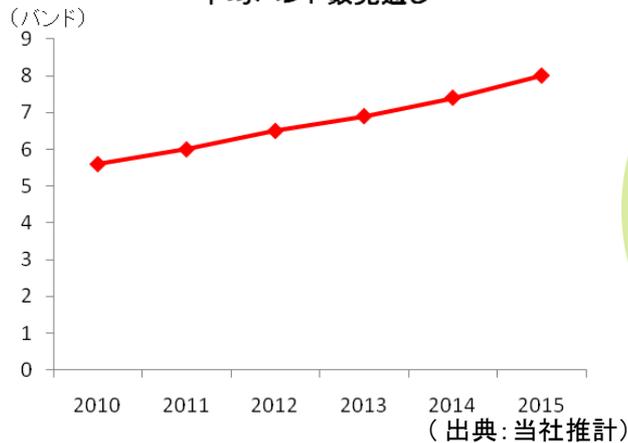
通信周波数帯域の増加による
SAWデバイス、高周波チップコイル
の需要増

(例)SAWデバイス
2G比 約5倍
3G比 約1.5倍

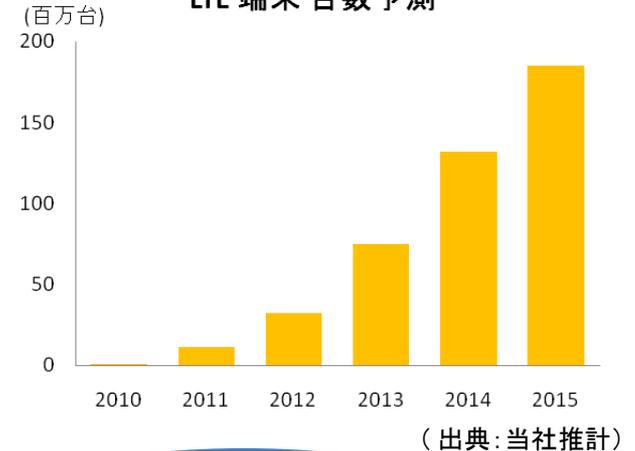
MIMO、ダイバーシティによる
フロントエンドモジュール(FEM)、
コネクタの需要増加

LTE

平均バンド数見通し



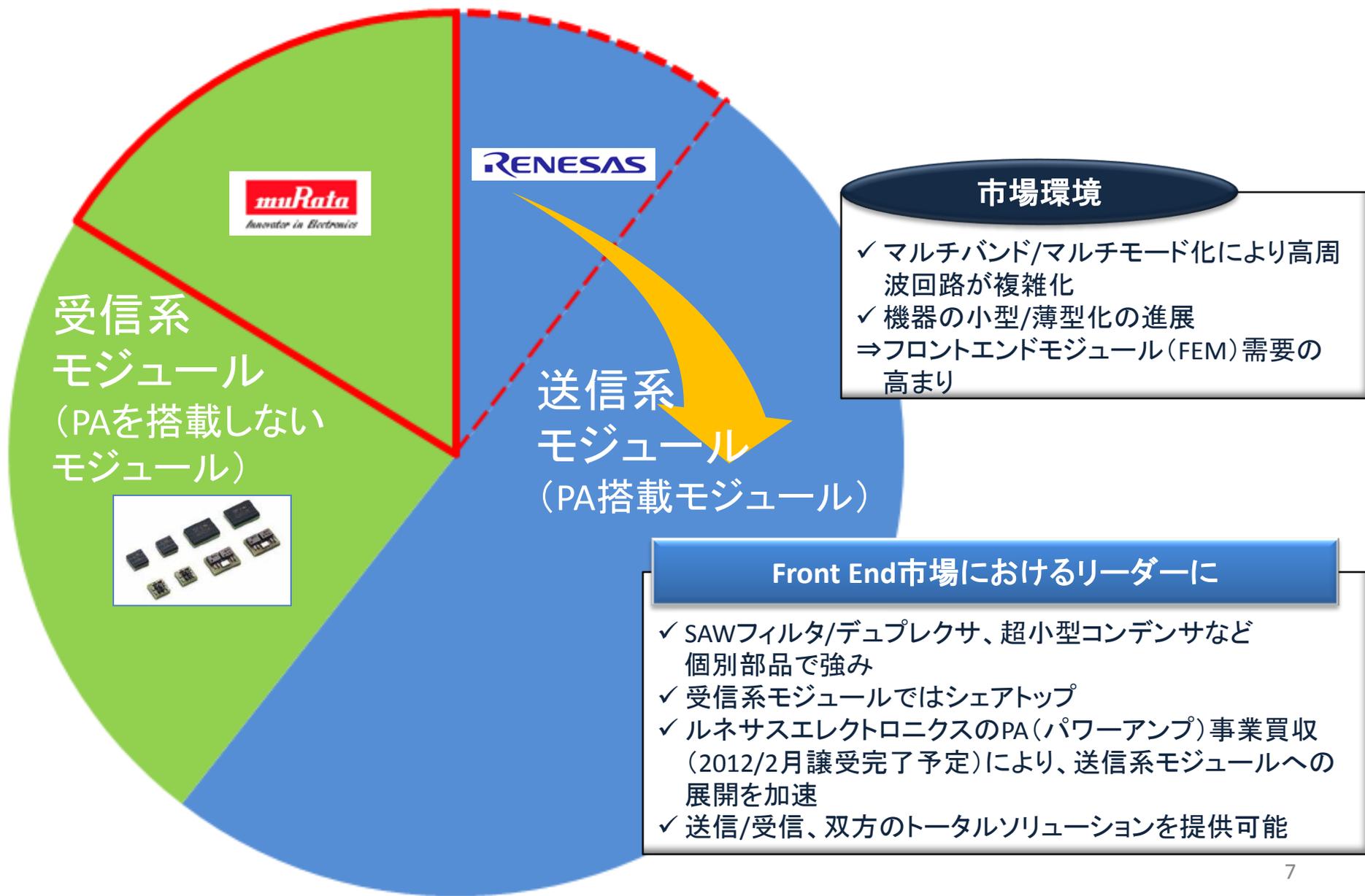
LTE 端末 台数予測



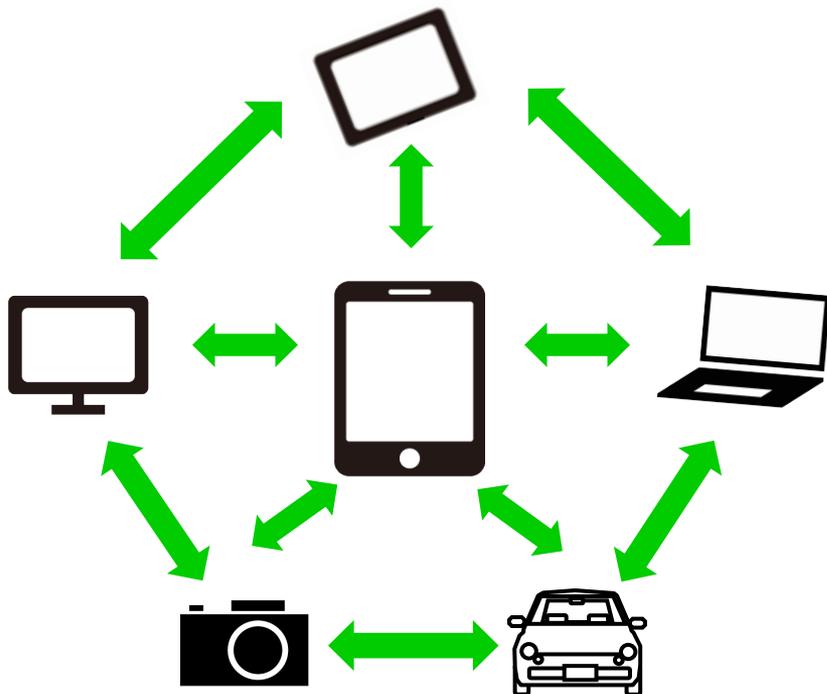
マルチモード/マルチバンド化に
伴うRF回路の複雑化と省スペース
に対するモジュール化ニーズの
拡大

データトラフィックの爆発的増加に
伴い、基地局需要が増加
—Macro/Micro/Pico/FemtoCell

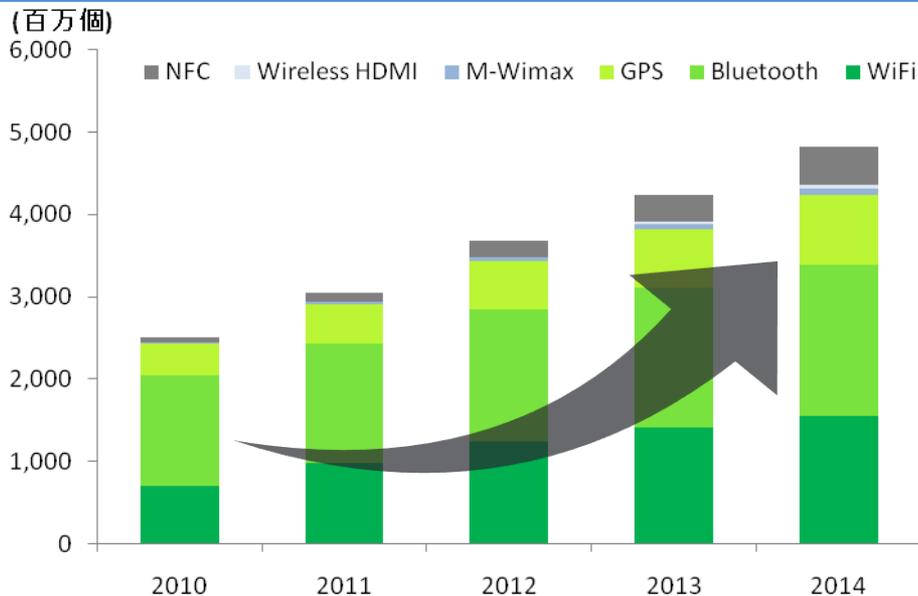
Front End 市場への展開



近距離無線通信市場の拡大

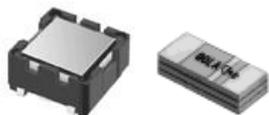


近距離無線通信市場の見通し



(出典: 当社推計)

Product Lineup



センサー



通信モジュール

Software

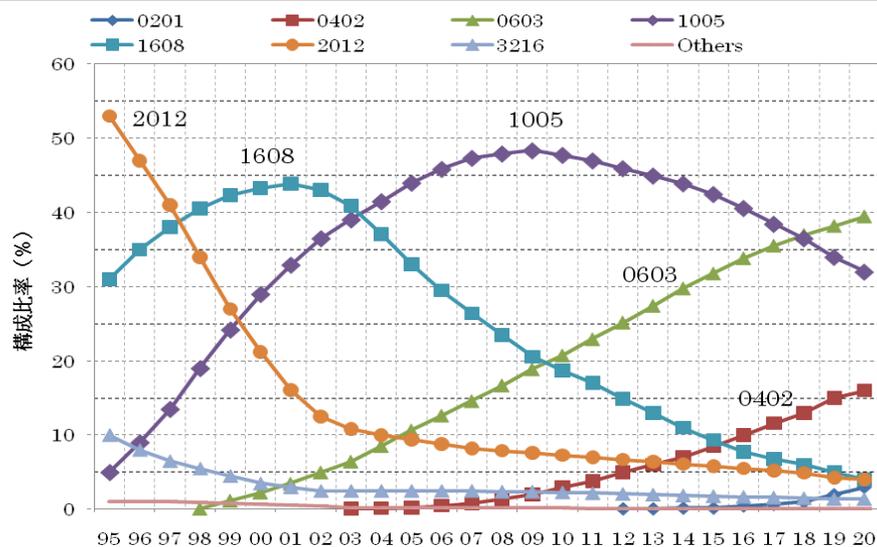
近距離無線通信市場は拡大の一途

- ✓ 通信トラフィック増加への対策として近距離無線通信を活用
- ✓ 家電、車、ヘルスケア製品等のあらゆる機器が近距離無線通信で接続
- ✓ 無線搭載機器の裾野拡大に伴う近距離無線通信用モジュール(WiFi/Bluetooth/GPSなど)の需要増加
- ✓ 当社は、「センサ+通信モジュール+ソフトウェア」のトータルソリューションの提案が可能

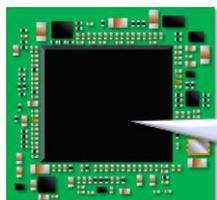
高付加価値MLCC市場の展望

- ✓ 機器の多機能/高機能化による超小型品、小型大容量品のニーズ拡大
- ✓ MLCCの大容量化に伴い異種コンデンサからの置き換え需要増加
- ✓ 小型/大容量化に加え、車載向けや基板埋め込み用コンデンサといった用途特化型コンデンサのラインアップを拡充

MLCCサイズ別 構成率



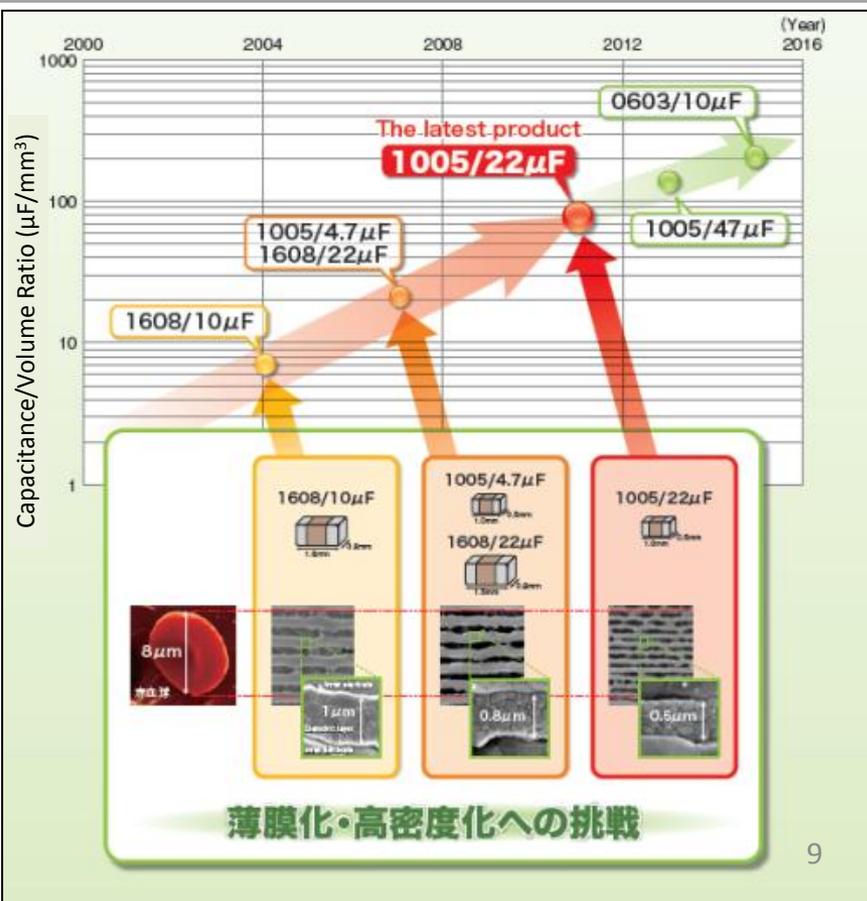
(出典: JEITA 2020年までの電子部品技術ロードマップ)



基板埋め込みコンデンサ(Image)



当社MLCCロードマップ



薄膜化・高密度化への挑戦

機器の高機能化⇒部品員数の増加



	2Gフィーチャー・フォン	3G フィーチャー・フォン/ ローエンド・スマートフォン	ハイエンド・スマートフォン
MLCC	100－200個	300－400個	400－500個
(内超小型品)	－	100－200個	300－400個
SAWデバイス	2－3個	3－6個	6－8個
WiFi Module	－	▲	●

(当社推計値)

Ultrabookになると
MLCC超小型品の員数UP
約3倍(推計)

LTE対応になると
MLCC+100個程度
SAWデバイス+2-3個程度
(推計)

	ノートPC	タブレット端末
MLCC	700－800個	500－600個
(内超小型品)	約100個	200－300個
SAWデバイス	－	6－8個
WiFi Module	▲	●

(当社推計値)



M&Aにより拡大する事業機会



- ✓ パワーアンプ(PA)を含めたアナログフロントエンドの複合化による通信モジュール事業の強化
- ⇒ 機能集約化が進むスマートフォンのRF回路向けにトータルソリューションが提供可能に
- ✓ 売上は300億円弱(2011年3月期実績)
- ✓ 事業譲受完了は2012年2月を予定

【ルネサス社PAの強み】

- ① マルチモード/マルチバンド(MMMB)型のPAを業界に先駆けて商品化
- ② シリコンベースのPA技術を保有しており、GaAs(ガリヒ素)ベースより低コストの生産が可能



- ✓ 車載、産業、メディカル用MEMS(*)センサ商品の獲得による商品ラインアップの拡充
 - ⇒ 新規市場「自動車、メディカル」分野への取り組み強化
 - ✓ VTI社MEMS技術・商品とムラタの顧客基盤を活用し、民生市場向け3軸MEMSジャイロ・加速度センサの販売
 - ⇒ 両社の強みを活かしたシナジー効果によりセンサ事業の展開加速
 - ✓ 売上は76百万ユーロ(2010年12月期)
 - ✓ 2012年4月までに買収完了予定
- (*MEMS・・・Micro Electro Mechanical Systemsの略)

【VTI社MEMSセンサの強み】

- ① 自動車向け
ESC(横滑り防止装置)、ABS等の車体制御用加速度センサおよび加速度・ジャイロコンボセンサ
- ② 産業・メディカル向け
産業機器向け傾斜センサ、メディカル機器用加速度センサ
- ③ 民生市場向け
3軸ジャイロセンサ、3軸加速度センサ

M&Aにより自社で保有しない技術やマーケットを獲得し、事業領域を拡大
⇒ 市場成長率を上回る業績拡大

新規市場/新商品

- ✓ 自動車
- ✓ 環境・エネルギー
- ✓ ヘルスケア

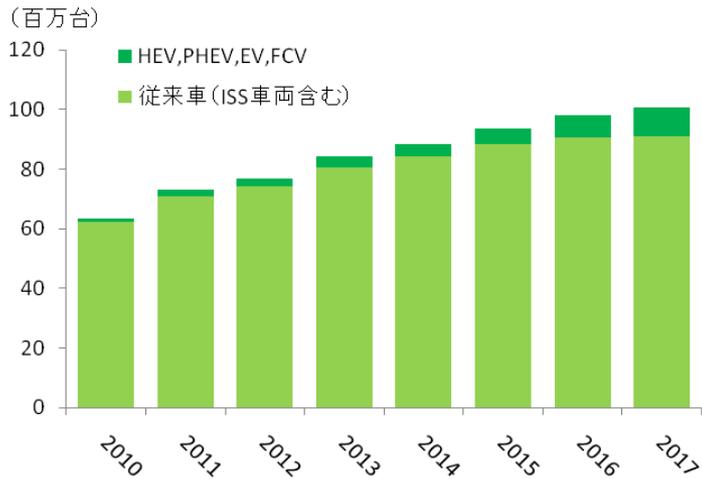
新規市場

自動車市場

当社カーエレクトロニクス向け売上推移



世界乗用車生産台数予測



(出典: IHS Automotive社)



車載市場の電装化が進展

- ✓ 自動車市場は安定的に成長
- ✓ HEV/PHEV/EV*の構成比上昇及びISSなど回生機能付車両の増加に伴う電子部品の需要増
- ✓ ESC(横滑り防止装置)の法制化に伴う需要増加
⇒新たに買収するVTI社(2012/4月までに買収完了予定)のジャイロセンサ、加速度センサの需要増
- ✓ 車載向け製品のラインアップを拡充
⇒パワーエレクトロニクス用大容量積層セラミックコンデンサ、絶縁型DC-DCコンバータ等

* HEV …ハイブリッド自動車

ISS…アイドリング・ストップ・システム

PHEV…プラグイン・ハイブリッド自動車

EV …電気自動車

新規市場

環境・エネルギー市場

太陽電池向け銀ペースト

鉛フリーで有鉛タイプ並みの特性を実現

エネルギーハーベスト・デバイス

身の周りのわずかなエネルギー(熱・振動・圧力・光)を電気に変換

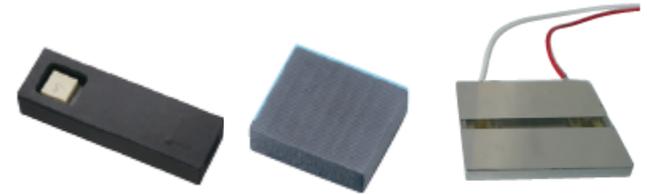
HEMS*向けワイヤレスソリューション(WiFi・Bluetooth・ZigBee)

家電をセンサと無線技術でネットワーク化し省エネスマートハウスを実現

リチウムイオン2次電池

MLCCで培った積層技術により、動力用や貯蔵用に対応する大型電池

Product Lineup



エネルギーハーベスト・デバイス

*HEMS・・・ホーム・エネルギー・マネジメント・システムの略

ヘルスケア市場

バイタルサインセンサ

触るだけでバイタルサイン(生体情報)を安定して測定

UVセンサ

美容や健康に影響を及ぼすUV-A,Bを高い精度で測定

マイクロプロア

セラミックスの特性を応用し、小型/薄型で高い空気吐出圧を実現

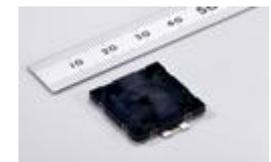
VTI社医療用MEMSセンサ

心臓ペースメーカー向け(心調律管理)でシェアNo1
VTI社買収により当社ラインナップに

Product Lineup



バイタルサインセンサ



マイクロプロア

新商品

新規事業/新商品

ESD保護デバイス

アンテナや端子などの静電気防止対策用途に幅広いラインナップで高い耐久性を実現
*ESD・・・静電気放電

RFID

トレーサビリティ用途で読み書き可能なRFIDチップ(MAGICSTRAP®)及びモジュールを
ラインアップ
*RFID・・・Radio Frequency Identificationの略

NFCデバイス

モバイル機器への搭載に最適な小型アンテナ、モジュールソリューションを展開

マイクロDDコンバータ

モバイル機器の高機能化に伴う各機能回路への個別電源供給
ディスクリート品に比べ、部品実装面積を大幅に削減可能

ワイヤレス電力電送モジュール

電界結合方式を採用し、10Wのワイヤレス伝送が可能
高い伝送効率、優れた位置自由度、薄型化により機器への組み込みが容易

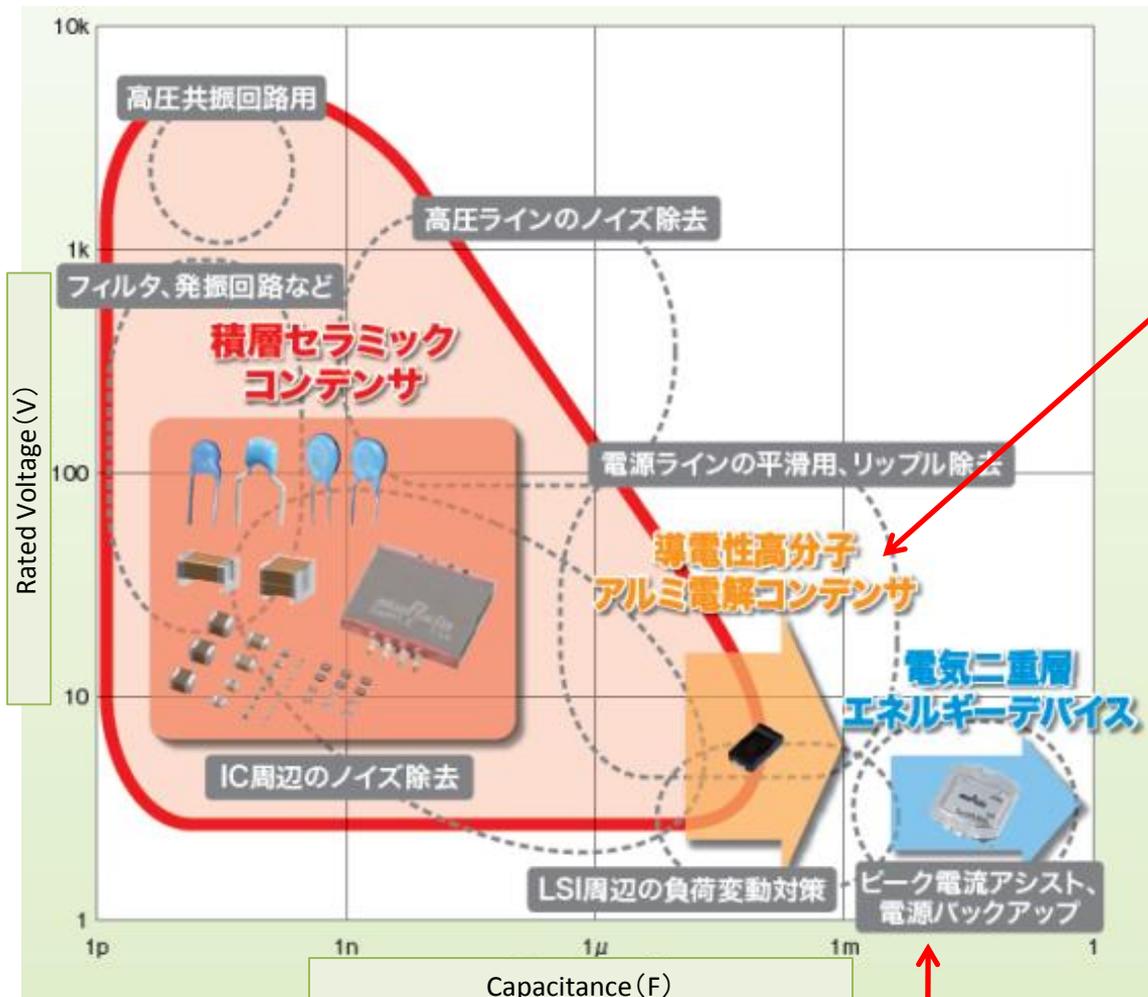


ワイヤレス電力電送モジュール

新商品

Capacitor Houseの展開

小型/大容量の積層セラミックコンデンサに導電性高分子アルミ電解コンデンサや電気二重層エネルギーデバイスを加え、ワイドレンジのラインアップでCapacitor事業を拡大



導電性高分子アルミ電解コンデンサ

- ✓ ノートPC、テレビ、通信基地局の電源ラインのパワーマネジメント用途
- ✓ 100 μ F以上に対応
- ✓ タイで2012年1月より量産開始予定

電気二重層エネルギーデバイス

- ✓ デジタルビデオカメラ/デジタルカメラのLEDフラッシュへの採用が決定
- ✓ 1mF~1Fの大容量域をカバー
- ✓ 量産開始

新興国市場

✓ 生産/販売体制の拡充

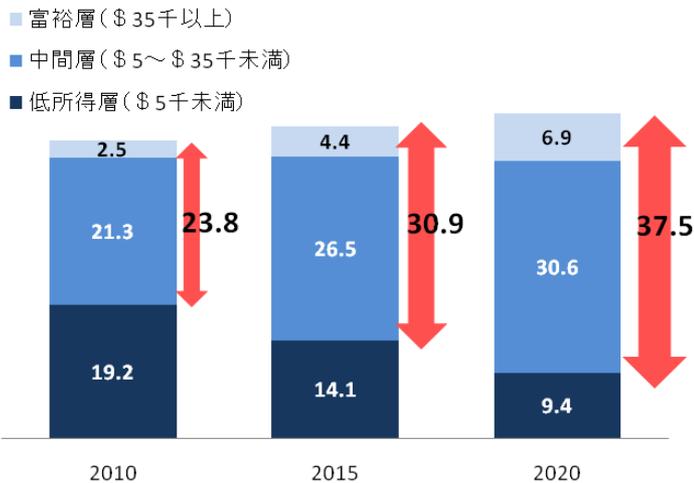
新興国市場への取り組み

新興国の需要拡大

- ✓ 新興国の中間/富裕所得層の増加により、購買力は拡大
- ✓ セットメーカーの生産/設計はアジアに集中

- ✓ 需要はローエンド⇒ミドルエンド/ハイエンドへシフト
- ✓ 営業、設計部門の現地化が必須

新興国の可処分所得別階層推移 (億人)



(出典: 通商白書2011)

販売体制

- ✓ インド、ベトナム販売拠点設立
- ✓ 中国内陸部に販売拠点を設立
⇒ 成都、武漢、重慶、西安

生産体制

- ✓ 海外生産比率拡大
15%→30% (2013/3までに)
 - ー 無錫 2011/4新棟竣工/生産開始
 - ー 深圳 2011/6新棟竣工/生産開始
 - ー フィリピン 2013/1生産開始予定
 その他、タイ、マレーシアでの生産拡大を計画

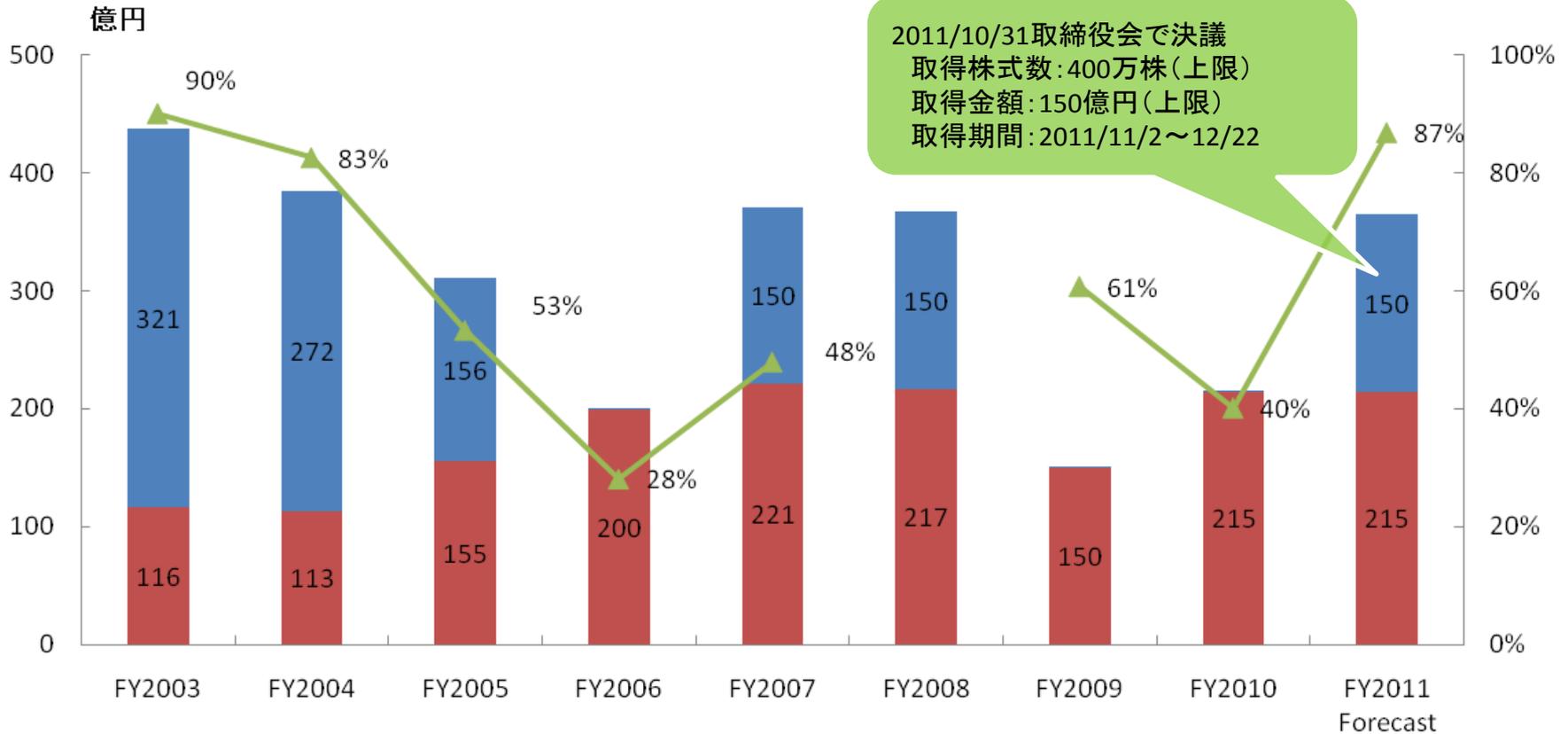
設計、マーケティング体制

- ✓ 上海に電波暗室(EMC対策)を設置
- ✓ 通信モジュール、電源モジュールの設計の現地化
- ✓ 新興国でのマーケティング活動を活発化

利益配分について

利益配分方針

■ 配当金 ■ 自己株式取得額 ▲ 総還元性向



利益還元策としては、配当による配分を優先的に考え、1株当たり利益を増加させることにより配当の安定的な増加に努めます。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

muRata